

資料提供	
令和2年2月17日	
担当	境港管理組合 山本、福田
電話	0859-42-3705

### 令和元(2019)年 境港の取扱貨物量について<速報値>

- 全体貨物量は、346万9,195トン（前年比0.5%減）に微減。輸出貨物については20万9,685トン（同2.3%増）、輸入貨物については184万1,393トン（同5.5%増）と共に増加した。移出貨物については17万4,998トン（同-19.6%減）、移入貨物については124万3,119トン（同5.6%減）となった。
- コンテナ取扱貨物量（実入り）は2万6,416TEU（前年比2.3%増）であり、過去最高である平成29年（2万6,497TEU）に次ぐ貨物量となった。

#### □全体貨物

- ・ 全体貨物量は、3,469,195トンと前年比0.5%の減少。
- ・ 輸出貨物は、水産品等が減少したものの、紙・パルプ等が増加したことにより、209,685トンと前年比2.3%の増加となった。  
輸入貨物は、原木等が減少した一方、木材チップ、重油、製造食品等が増加したことにより、1,841,393トンと前年比5.5%の増加となった。
- ・ 移出は、木材チップ等が増加した一方、石材、重油等の減少により、174,998トンと前年比19.6%減少した。  
移入は、重油、石油製品等が減少したことにより、1,243,119トンと前年比5.6%の減少となった。

#### □コンテナ貨物

- ・ コンテナ取扱貨物量（実入り）は、前年比2.3%増の26,416TEUとなり、過去最高である平成29年（26,497TEU）に次ぐ貨物量となった。  
航路別では、韓国航路が前年比0.5%増の23,096TEU、中国航路は前年比17.8%増の3,320TEUとなった。
- ・ 輸出は産業機械等が減少した一方、紙・パルプ、電気機械等が増加し、14,319TEUと前年比3.9%の増加となった。  
輸入は、電気機械等が減少した一方、製造食品、非金属鉱物等が増加し、12,097TEUと前年比0.6%の増加となった。
- ・ 貿易相手国（上位の相手国）については、フィリピン、韓国、アメリカが減少し、中国、タイが増加している。

#### ～主要貨物の状況（出入区分別）～

<全体貨物> (単位：トン)

外貨		R1	H30	増減率	内貨		R1	H30	増減率
輸出	紙・パルプ	139,125	122,015	14.0%	移出	水	92,685	91,079	1.8%
	木製品	28,068	29,462	-4.7%		重油	59,944	76,682	-21.8%
	金属くず	10,787	13,550	-20.4%		木材チップ	9,254	6,000	54.2%
輸入	木材チップ	1,460,251	1,259,992	15.9%	移入	セメント	315,687	302,579	4.3%
	原木	199,114	283,031	-29.6%		石油製品	304,090	584,387	-48.0%
	鉄鋼	40,669	42,574	-4.5%		揮発油	302,511	140,921	114.7%

<コンテナ貨物> (単位：TEU)

		R1	H30	増減率			R1	H30	増減率
輸出	紙・パルプ	8,396	6,884	22.0%	輸入	木製品	2,295	2,367	-3.0%
	木製品	2,552	2,881	-11.4%		鉄鋼	2,070	2,004	3.3%
	水産品	728	1,049	-30.6%		非金属鉱物	1,683	1,518	10.9%

※ なお、今回発表する数値は速報値であり、今後変更になる可能性があります。

※ 国際定期フェリーは、韓国航路に含みます。

※ TEUとは、20フィート(コンテナの長さ)換算のコンテナ取扱個数の単位です。(1TEU=20フィートコンテナ1本)